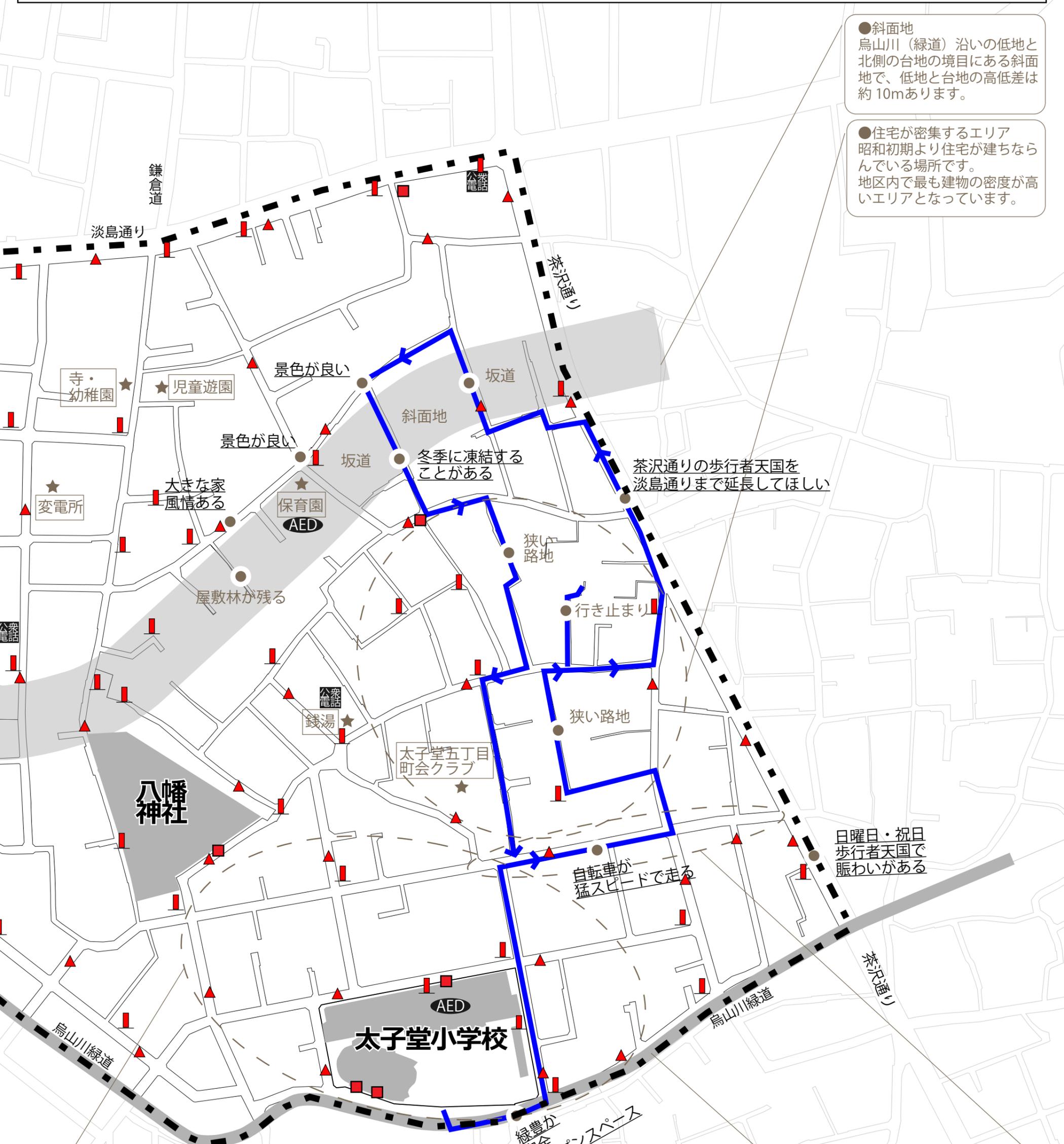


凡例

- : 見てほしい場所
- : 地域の声 (アンケート、講演会)
- ★ : 目印となる施設
- : 区域境
- : 防火水槽
- ▲ : 消火栓
- ┃ : 消火器



●斜面地
烏山川（緑道）沿いの低地と北側の台地の境目にある斜面地で、低地と台地の高低差は約10mあります。

●住宅が密集するエリア
昭和初期より住宅が建ちならんでいる場所です。地区内で最も建物の密度が高いエリアとなっています。

●太子堂小学校の周辺
昭和の初期は原っぱで、神社のお祭りのときにはサーカスなどの会場となっていたそうです。昭和10年代より徐々に宅地化が進みました。

●住宅と商店が混在する通り
(太子堂商店街の一部)

●烏山川緑道
河川の上部を利用して整備された緑豊かな緑道で、春には桜が楽しめます。昔は川沿いに白と黒の2つの水車があったそうです。

茶沢通りの歩行者天国を淡島通りまで延長してほしい

日曜日・祝日歩行者天国で賑わいがある

自転車が猛スピードで走る

冬季に凍結することがある

屋敷林が残る

大きな家風情ある

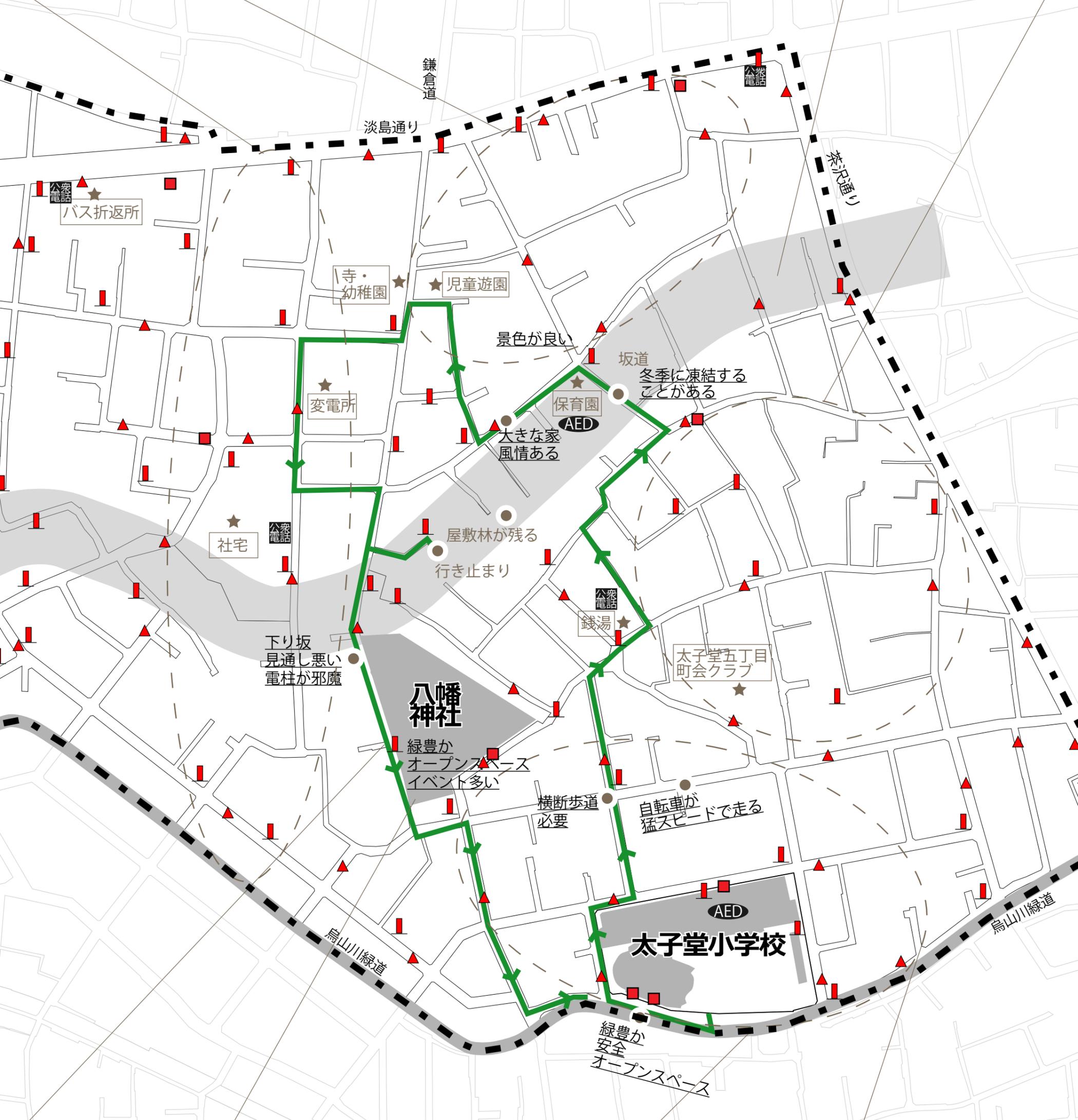
景色が良い

緑豊かな安全オープンスペース

凡例

- ：見てほしい場所
- ：地域の声（アンケート、講演会）
- ★：目印となる施設
- ：防火水槽
- ▲：消火栓
- ┃：消火器
- ：区域境

- 戦後に開発が進んだエリアです。昭和初期は台地側はクヌギ林、斜面地より烏山川緑道にかけては草原でした。
- 昭和初期より住宅が建ちならんでいる場所です。
- 斜面地
烏山川（緑道）沿いの低地と北側の台地の境目にある斜面地で、低地と台地の高低差は約10mあります。
- 住宅が密集するエリア
昭和初期より住宅が建ちならんでいる場所です。地区内で最も建物の密度が高いエリアとなっています。



- 鎌倉道
鎌倉に通ずる古道で、昔は交通の要所でした。
- 八幡神社
この地の守り神として神社の歴史が始まり、後に源氏の氏神となった八幡神が、源氏の関東での領地拡大に伴い祀られるようになったと考えられています。江戸時代には世田谷全体が、幕府の直轄領である天領、あるいは大名や旗本の領地が入り組み、領民と土地はそれぞれの支配者の下にありましたが、太子堂ではそれら支配違いの農民たちが八幡さま祭礼に心を一つに神祭りに奉仕し、賑わいを楽しみ村落の統一を保っていたとされています。
- 烏山川緑道
河川の上流部を利用して整備された緑豊かな緑道で、春には桜が楽しめます。昔は川沿いに白と黒の2つの水車があったそうです。
- 太子堂小学校の周辺
昭和の初期は原っぱで、神社のお祭りのときにはサーカスなどの会場となっていたそうです。昭和10年代より徐々に宅地化が進みました。

凡例

●：見てほしい場所

●：地域の声（アンケート、講演会）

★：目印となる施設

■ ■ ■：区域境

■：防火水槽

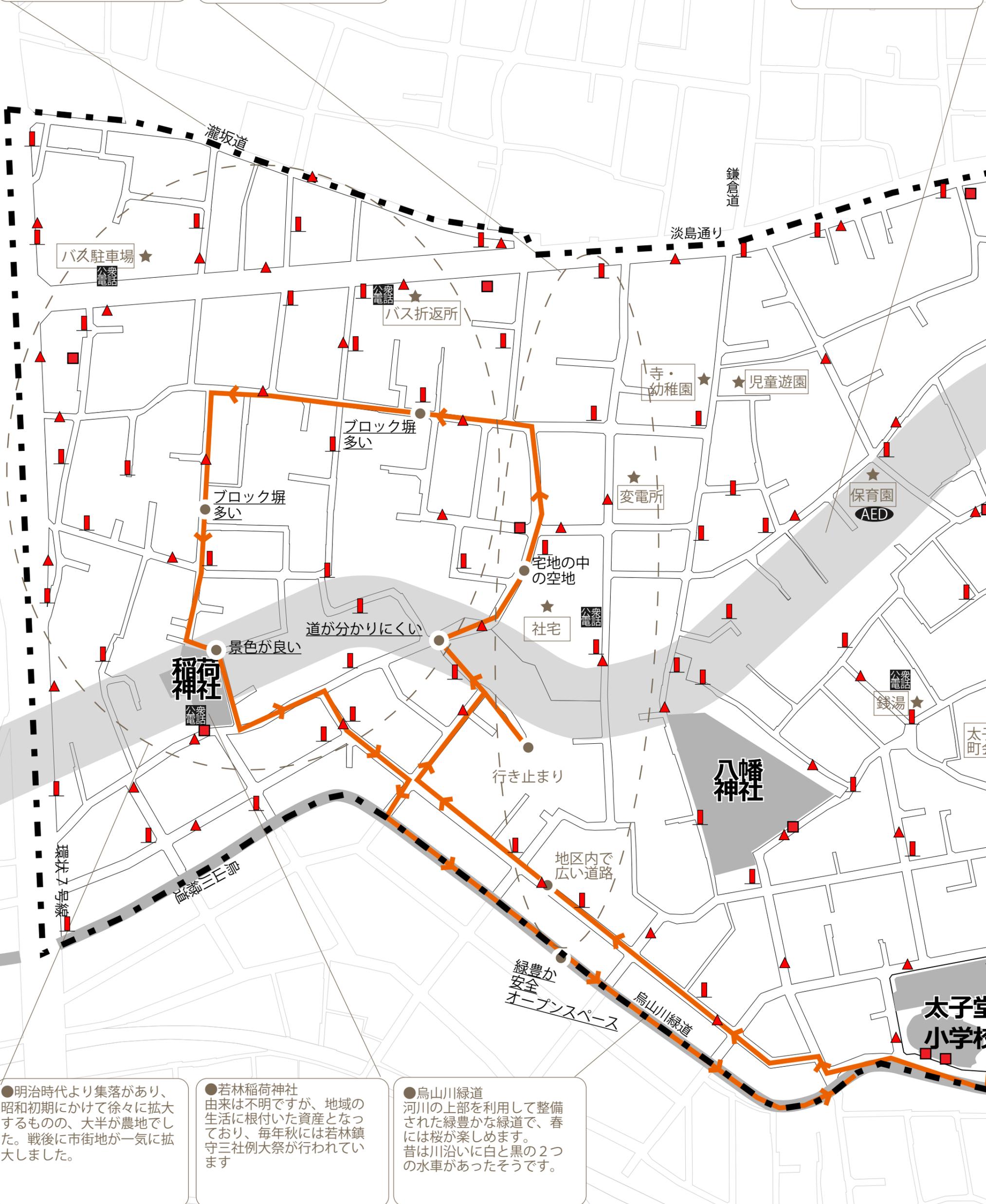
▲：消火栓

■：消火器

●瀧坂道
江戸時代に甲州街道が開設される以前、江戸と府中を結ぶ街道でした。

●戦後に開発が進んだエリアです。昭和初期は台地側はクヌギ林、斜面地より烏山川緑道にかけては草原でした。

●斜面地
烏山川（緑道）沿いの低地と北側の台地の境目にある斜面地で、低地と台地の高低差は約10mあります。



●明治時代より集落があり、昭和初期にかけて徐々に拡大するものの、大半が農地でした。戦後に市街地が一気に拡大しました。

●若林稲荷神社
由来は不明ですが、地域の生活に根付いた資産となっており、毎年秋には若林鎮守三社例大祭が行われています

●烏山川緑道
河川の上部を利用して整備された緑豊かな緑道で、春には桜が楽しめます。昔は川沿いに白と黒の2つの水車があったそうです。